

～ 豊かな学びの実現 ～

## (株)裕源・(株)裕毛屋 代表取締役 謝明達 社長と台湾研修生との 面談が実現

ブドウを栽培する農場を視察し、生徒と交流する謝社長(右)



## 西条産ブドウ 台湾で 魅力伝えて

販売研修前生徒へ助言

丹原高で現地スーパー社長

台湾で高級スーパーを運営する商社「裕源」(神奈川県)の謝明達社長が17日、丹原高校(西条市丹原町願連寺)を視察し、生徒と交流した。同校は自校栽培のブドウを同社のスーパーで販売するなど交流がある。謝社長は、9月に台湾で販売研修を行う生徒9人と面談し、現場で学ぶ大切さを説いた。

謝社長は、同社が運営する県内企業との商談のため来る台中市のスーパー「裕毛屋」で開かれる愛媛フェア(9月6～8日)に向け、今年もフェアに合わせて生徒10人が参加する。

農場を訪れた謝社長はハウスなどの設備を丹念に見て回り、台湾に出荷するシャインマスカット、ニュービオネなどの生育状況について生徒から説明を受けた。

謝社長は「いろんな農産物や県外の産地を見て学んでほしい。商品だけでなく、産地の良さも伝われば、その後のインバウンド(訪日客)需要にもつながる」と呼びかけた。

園芸科学科3年藤沢優衣さん(17)は「農産物の特長を知ることや言語を勉強する大切さを教わった。研修では販売の楽しさや、積極的なコミュニケーションを学びたい」と話していた。(高橋圭太)

7年目のブドウでのGLOBAL GAPの認証取得に挑戦。  
台湾研修は9月に実施。研修生はブドウ栽培、台湾研修にかける想いと感謝の気持ちを伝えました。  
謝社長からは、ブドウ栽培のスペシャリストになるなど助言をいただきました。熱い想いと時間を共有できました。